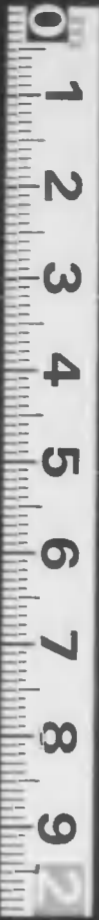


週
報
寫
眞

情 報 局 編 輯
九 月 八 日 第 二 百 八 十 八 號



週
報
眞
實

情 報 局 編 輯
九 月 八 日 第 二 百 八 十 八 號



敵の反攻激化に備へよ



北の新任に就いた最前線兵は
霧中であつて北方を眺めとる



八月十一日からカナダのケベックにおいてルーズベルトとチャーチルとが第六回目の会談を行つてゐたことは誰もが知る通りであるが、彼等はこの会談を終了した二十三日に連名で「会談は主として対日作戦と重慶援助に集中された」と發表しただけで、問題の核心とみられてゐた対獨作戦及び第二戦線の話には積極的に觸れず、たゞ今後あらためてソ聯の参加を拒絶して三國會談を開きたい旨を述べたに過ぎなかつた。しかしケベック會談の内容は、果して彼等が發表した通りの問題に終始したかどうかといふことはなほ疑問のあるところであるが、「日本を正面の敵」と感嘆する米國輿論の熾烈な要求にかんがみ、また會談に海軍長官ノックスや重慶側の宋子文が駆けつけたことによつても、この會談を一つのきつかけとして、敵の反攻が一段と激化するであらうことは想像に難くない。

場と化してゐることも亦誰でもが知つてゐるところであらう。また北方アリューシャン方面においては、大本營發表にあつたやうに、北方最前線の運りにあつたキヌア島のわが守備部隊は、作戦の任務を完了して、何ら敵の妨害を受けずに安全に撤収して新任務についてゐる。わが部隊のキヌア島撤収によつて、昨年六月アリューシャン連島作戦から一年餘にして、北太平洋戦線はこゝに新段階に入つた。かくして南太平洋方面における航空決戦はいよいよ苛烈さを加へつゝあり、これに呼應して雨期明けのビルマルトを通じても空軍の強化等が、我が國は必ずや飛躍になつてくるであらう。しかし、かくあるべきことは、わが國が早くから準備してゐたところであらう。何等怪しむに足らないのみか、ケベック會

南太平洋方面の〇〇基地におけるわが射撃隊



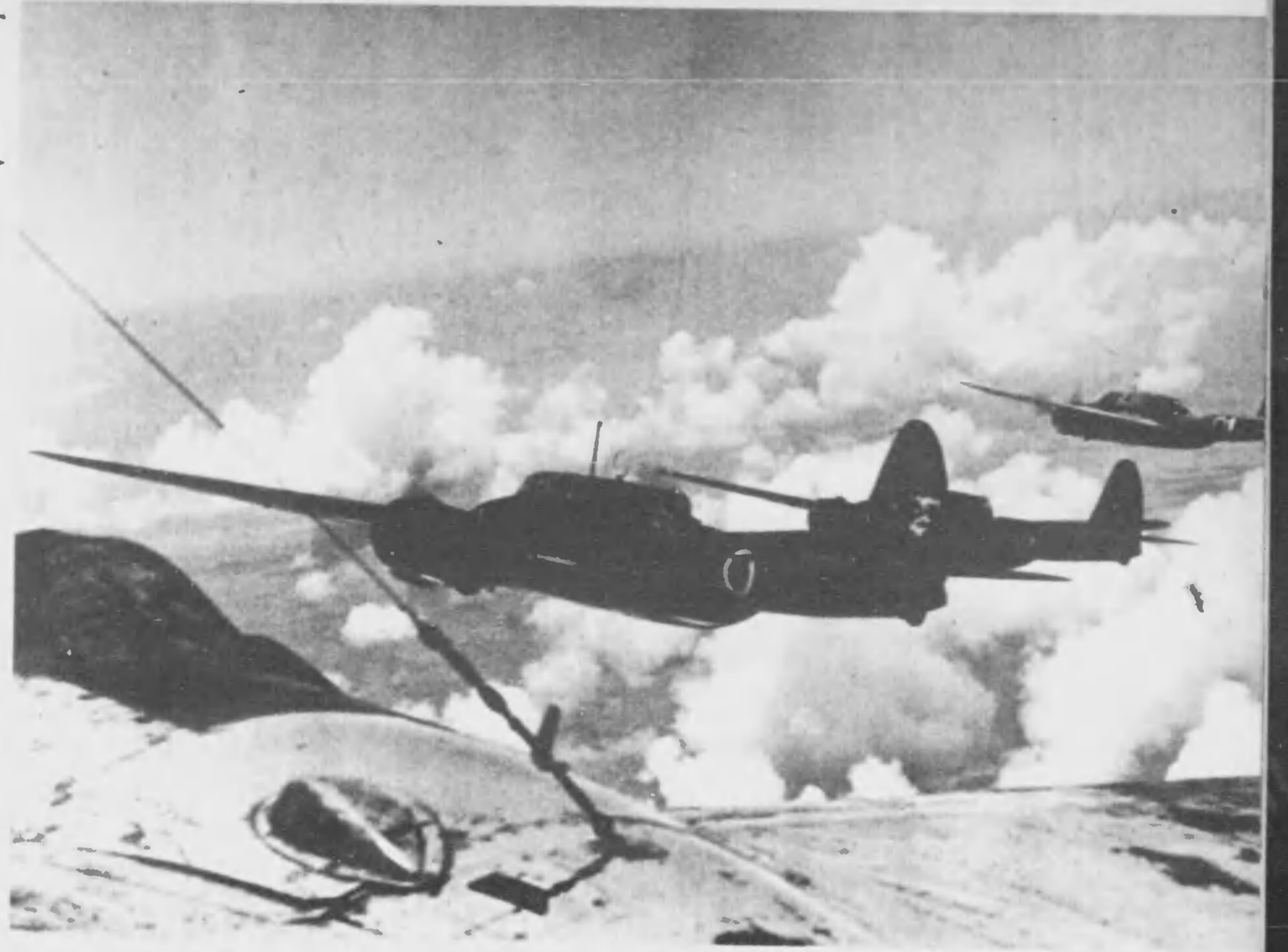
陸軍省提供

〇〇基地における工兵隊の架橋作業

太平洋を島傳ひに北上する線、北方アリューシャンからする線、支那大陸から来る線等が擧げられるが、彼等はこの聲明に基づき侮り難き攻勢を示し、ソロモン、ニューギニアを戦場とする西南太平洋方面の戦況の如き、正に喰ふか喰はれるかの一大修羅

談の一種こそは、われら一億の戦意をいよいよ昂揚させ、必勝不敗の信念を更に強固にする好機の一戦戦であった。われら一億國民は今こそ敵の盲動に備へて、焦らず騒がず、本土もまた戦場となる覚悟を以て、勝つために各職場を死守しよう。

我が本が土在支米空軍撃碎へ



□ 在支米空軍の補給線飛行場を破壊、わが必中の巨砲は津浦線に向つて集中された

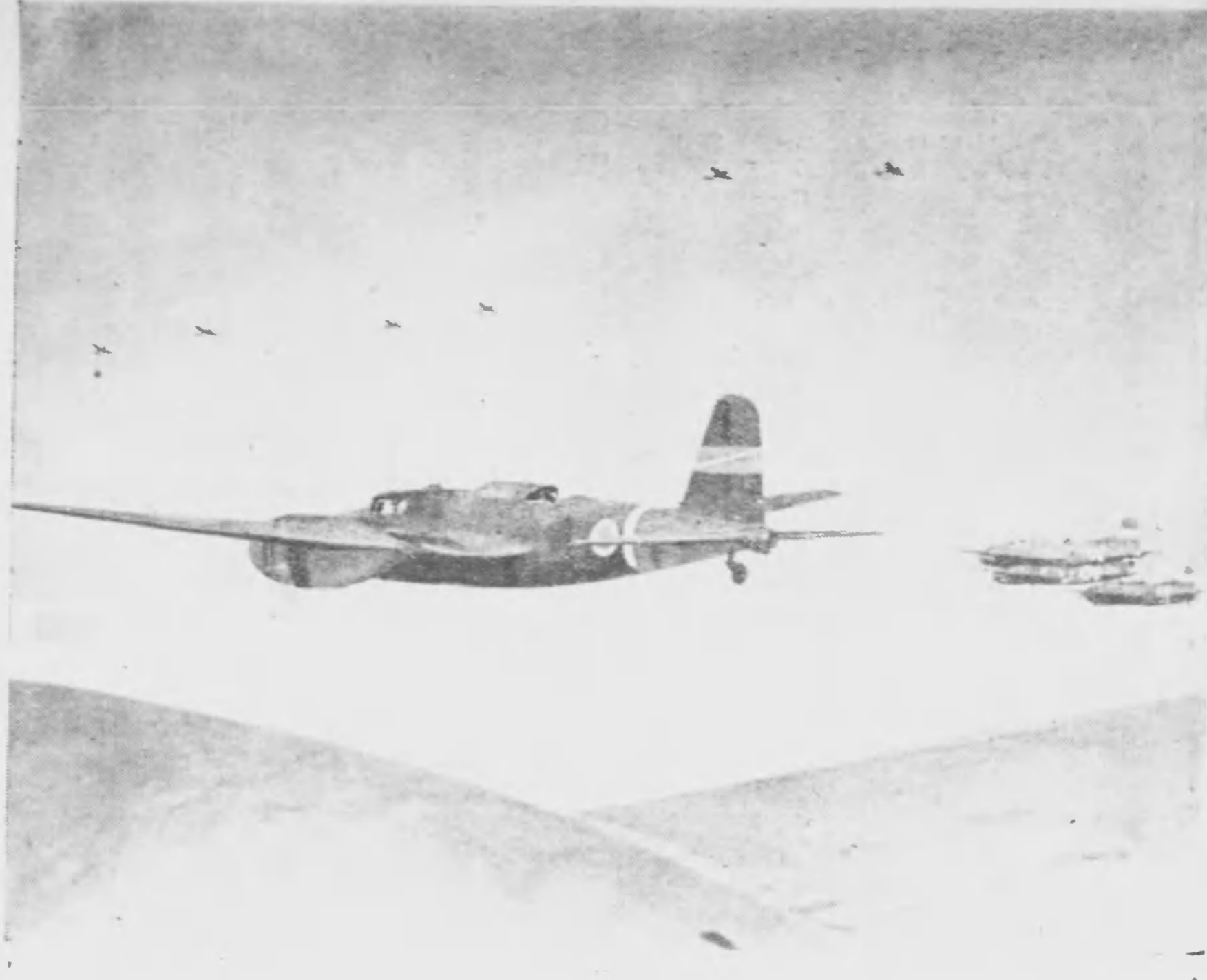
支那大陸からわが本土を空襲しようとする敵の野望は、まず「露骨に、また執拗になつてきた。これに對しわが陸軍航空部隊は、果敢な先制爆撃或ひは遊撃戦法によつて、敵空軍を隨處に捕捉し、七月下旬から八月下旬に至る僅か一ヶ月間に撃墜、戦爆合せて七十機を超える赫々たる戦果をあげてゐる。しかも叩かれても、量を持つ敵は、中印



ルートを強化して在支米空軍を撲滅し、あくまでもその野望を遂行しようとしてゐる。われは大陸における苛烈な日米航空決戦の様相を直視し、斷乎待つあるを待む決意を以て前線將兵の勞苦に應へねばならない

◇ 今日必殺の電氣物凄く、わが新鋭機部隊は敵をもとめて

撮影 支那派遣軍報道部



◇ 戦闘機隊に導かれて、敵基地の撃滅を期す堂々の機翼陣

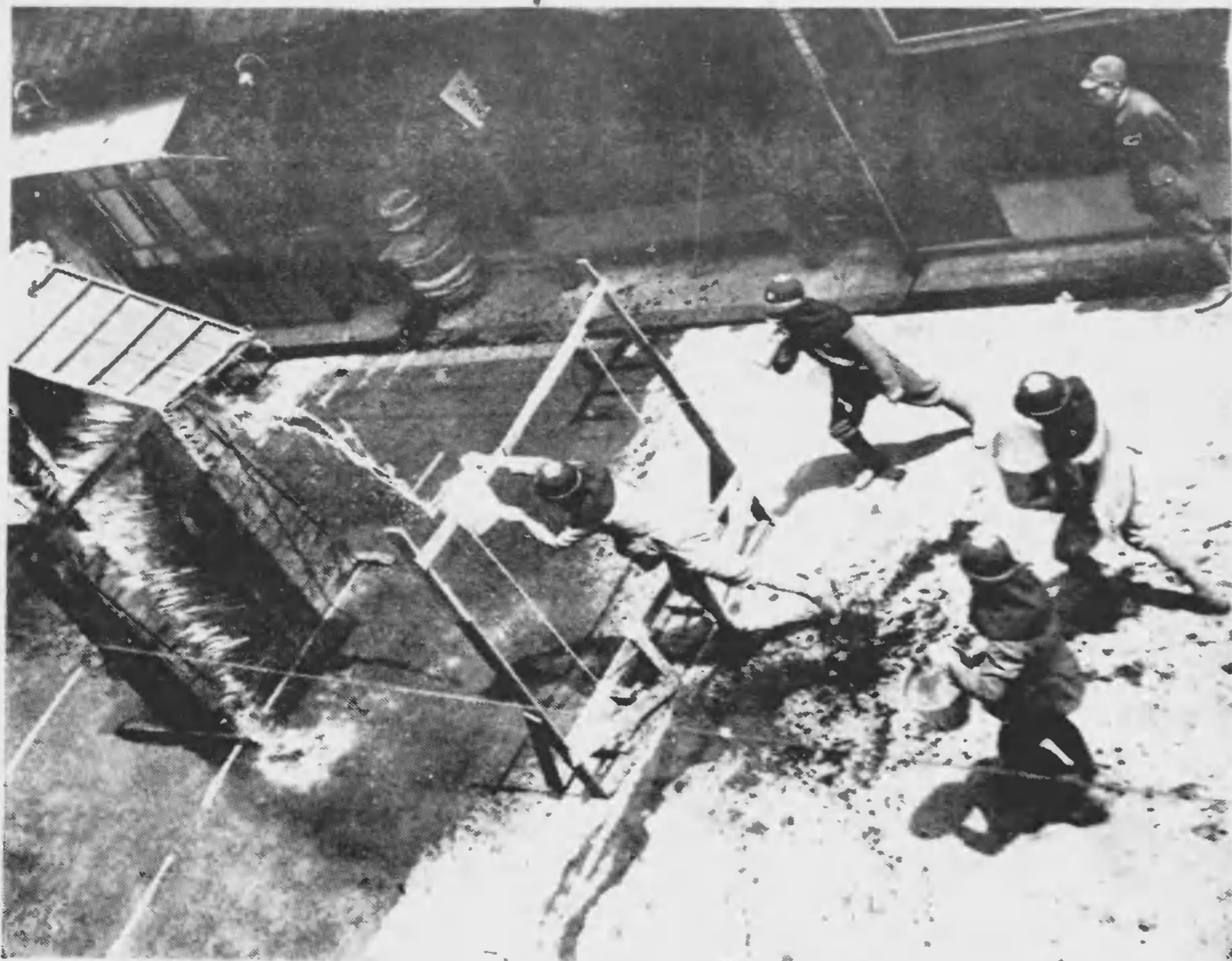
小頑な敵の機動に、わが荒鷲はまた新しい任務に飛立つてゆく



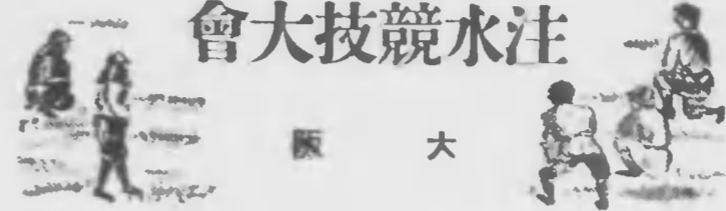
優勝した隣組
左から武田、神
原、田中、山
田の七選手

優勝した隣組の
先鋒の足に
重心を移して
優勝した

優勝した隣組の
先鋒の足に
重心を移して
優勝した



消さば止まじ 注水競技大会

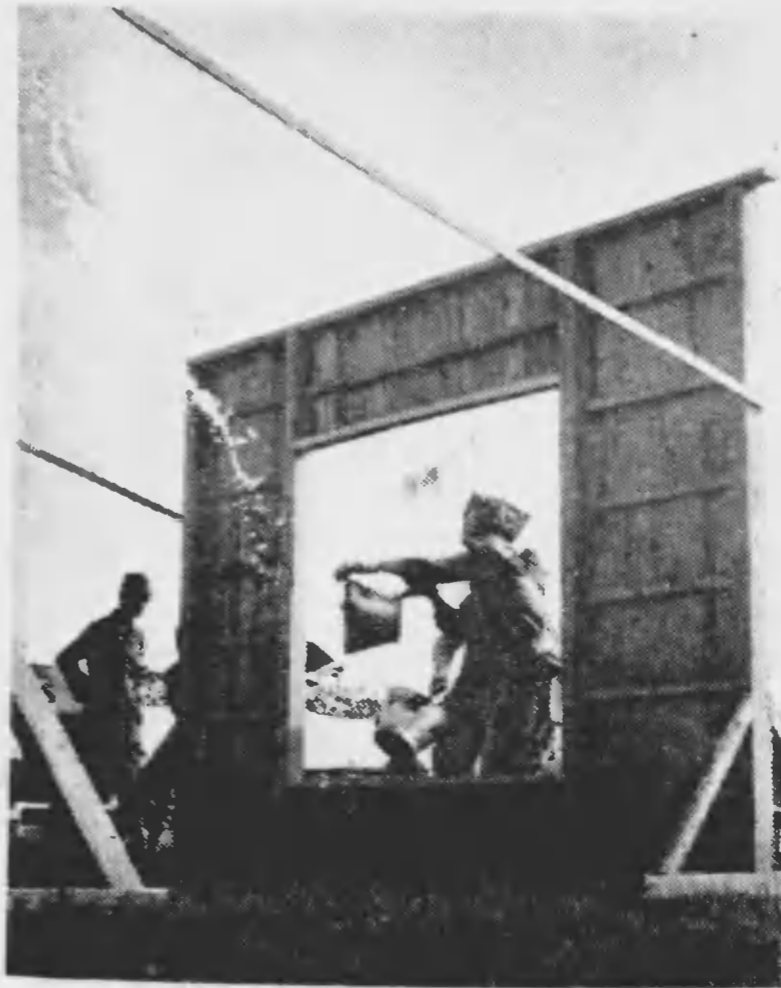


防消の競技的訓練として全国に試みている大阪市下備、大阪
師範、大阪府後援の隣組注水競技大会が八月二十二日市立
運動場で行はれた

当日は同市七方隣組の中から選出、練習明會、阪と駒、次選
を經た各代表二十一人の選手が、これまた同じ隣組の防消主
任指揮の下に規定の一分間、水を止まざるの競争が激し
は観衆の手に汗を握らせたほどであった

その結果は、昔から競場のホシチ、Jのいとほんと、およ
そかうした博修訓練は出来ないものか行はれてゐる高都の
中心、船場の南區坂町通一丁目町會第九組が栄冠を獲得した

この榮えたる第九組こそ、この古い汚名を返上したばかりでな
く、その優勝の除には、隣組の隣保相扶の精神と敢闘精神が遺憾
なく発揮されたもので、殊勝と來れ、われらの空はわれら隣組で
護り得るの自信を如實に示したものである



競技は中止して、生け花の人

エイ、エイ、エイ、と、高所注水は



冬に備へて火見者に山火を焼く

青森縣五所川原農學校生徒

「うん、どういしよ」肩に吸ひ入る重さをくつとこたへて……

物の不足を仰つ前に、これを押し切つて明るい戦争生活を確立する覚悟を固め、工夫を凝らさずにはないか。殊に這入る人々、あらゆる戦争下の悪条件を克服して生産に挺身してゐる人々の勞苦を憶はう。ここに紹介したやうに、昔ならば家事の手傳ひで手一杯の農學校の生徒が、夏休みもよそに、熊の出るやうな山の中に籠つて炭を焼いてゐる。少年たちがふみ堪へてゐる代々の勞苦、酷暑、山小屋の生活を想つてもみよう。現在われわれが手にするすべてのものは、なんらかの運命で、血のじじといつていゝ辛苦が含まれてゐるのだ。消費も戦ひだ、切實な心構へが必要であらう。

青森縣立五所川原農學校林科の生徒達が、五能線追良瀨驛から追良瀨川を遡つて四里、追良瀨の山中に進駐して、七月下旬から三、五年生は各一週間、四年生は四十日間ぶつ續けの炭焼小仕事を續けてゐる。一回に炭材十五石を収容する炭窯三基と取組んだ生徒達は、同期中に約七百俵を焼上げる予定で、學校、寄宿舎などの自家用に充てるほか、三郷は縣の出荷命令で都會地に送り出すことになつてゐる。

炭材の詰めこみを終つた。あとは火を入れて焼き「一日の勞働を終へた。この成果を待つばかり。ほつと一息といふところ。盛つた食慾が明日の戦力をつくる。





「食糧はすべて自給せねばならない決戦下、福岡縣築上郡雄田町では、大日本婦人會員の女子だけで一日八畝の採塩に成功してゐます。これは、昭和十七年七月から一人當り百八十キロ、自家製塩が許されてゐるのに、昨日一日採塩で、今年初の採塩を、自家製塩に乗用したのです」



女ばかりで 焼けつくり 塩づくり

福岡縣雄田町

「今日は何れも、私達の塩田へ」



「か」と世間の陰口にもめげず、學徒や農組の協力を得て、葦や薄で荒れるままに荒れきつた海邊の土地を開拓して、遂に五月十二日には、初の採塩を行ひ、決戦女性の敢闘精神が見事に實を結びました



「汗の結晶がこんな素晴らしい塩になつたと思へば、これぞ塩不足ももう大丈夫」



日四十三月九
日念記議保法司

も君諸年少なし伍落度一

へ列戦の強増産生然断



毎朝啼れた日は、府社八幡宮まで往復四キロの参拜延足だ。めき／＼身も力もなくなつてくる。勝つたものの、その部分品になると思へば一つ／＼の嫌子切りにも精進をこめて。作業指導員の指導も首領だ

現在重要産業部門の工員の約五割から八割までは少年工だといはれる。殊に飛行機製作に従事してゐる者の大部分は、十五歳以上二十歳未満の青少年である。いかに現在彼らが生産増強の最前線に受持つてゐる役割が重要であるかが首肯されよう

これら多数の少年工のうち一人でも過つて悪の道に走れば、その影響は大きく直接戦力の増強にひびいてくる。また猫の手も借りたまま、既に道を踏み外した少年も、何とかして一日も早く戦列に引き戻さなければならぬ。少年保護も正しく戦後の戦争である

特別錬成道場の一つである江和寮は、東京都深川区の江端製作所に附設されてゐる民間の少年保護團體で、現在矯正院の短期錬成を經た二十四名の保護少年が、保護關係者の愛情と熱意に包まれ、規則正しい生活と作業場における流汗錬成で、日夜過しい勤勞少年への道を急いでゐる。午前五時の起床に始まり、午後九時の就寝に至るまで、一日の日程は軍隊生活を思はせるやうに規律の中にも適度の奮ひのある組織立つたものである。精神教育と實業教育、さらに體育をかみ合せ、あくまでも皇國民としての錬成を目的とした日々が、保護少年に捺された忌はしい烙印を拭ふやうに淨めてゆくのである。さる五月十四日に第一期生、次いで六月十二日に第二期生の入所をみたのみで未だ日も浅いが、作業場の能率も豫期以上の成績であるといはれてゐる



今日三時の休憩時間に生産増強の局から富たいたお菓子が支給された。ほくらも一人前だぞ



夕食が済み入浴が終ると娯樂の時間だ。昔と違つて懸命な勤勞のあとだけにその楽しみも大きい





在支邦人學生賣の訓練 北支軍報報道

内地の學生に負けず一人残らず空へ征かろうと、北京在住の專門學校學生三十餘名は、八月十一日から西郊飛行場で訓練を受け大甲斐あつて、今では空々烈烈をつらね練習飛行を行ふまでになつた。飛行は盟主日本の學徒と中國人を感服せしめてゐる

忠實に頼るヨイコドモ

東京都小石川區富坂二丁目のヨイコドモたちは夏季ラジヲ體操の期間中、徳朝東京都忠實塔前の廣場で、元氣一杯にラジヲ體操を行ひました。そして、體操が終ると同時に子供たちは五分間、忠實塔前や工事中の敷地の清掃を行ひ、その間に埋れた古釘や鐵屑を拾ひました。味も積れば、この貯蔵が夏季體操終了の八月二十日には六十貫となり、この賣上げ代金十一圓七十七銭を全部忠實塔に献納しました

最前線でも貯蓄

銃を片手に、貯金通帳を片手に、前線で兵隊さんは戦つてゐる。ヨイキア戦線〇〇の野戦郵便所は五月二十四日開所以來僅か十二日間だけで貯金三十三萬三千三百三十九圓七十九銭、軍事爲替十九萬一千六百三十四圓三十五銭、合計五十四萬圓を超えといふ驚くべき戦果をあげた。なんの二百七十億圓、必ず銃後で貯蓄しなければ兵隊さんに申請がない



本誌掲載の寫眞を無料貸出

情報局では今回『寫眞週報』に掲載されてゐる寫眞の、雜誌、出版物等への無料貸出制度を實施致しました。御希望の向きは、東京都新聞局有樂町一ノ二毎日會館二階財團法人寫眞協會に用途を明らかにして御相談下さい。



★表紙

グアンター・ケンブリッヒ大佐指揮のドイツ補助巡洋艦トールは、反航艦隊司令官沈没八隻約十万吨(うち空母三隻)は我が國に回航の輝く戦果を擲へて横濱に入港したが、初めて見る四邦日本の戦況選しは艦隊司令の美しさとともにドイツ海軍將兵を感嘆させた

照準器



繪 郎太 ベンセ



子賣もさても羨ひなし
「決戦期に行き、おしおするふん附屬できたねえ。これならおん坊がまだくふても心配ないぞ」



長袖が落下傘に
「あら、わたしの着物と同じ模様で、きれいな落下傘ねえ」
「落ふよ、姉あなが長袖だけでも開いたれば、それだけ兵器になるつてことだよ。その長袖、早く切りなさい」

倍以上の御奉公
「お婆さん、わたしが衣料節約するに、人様の倍以上御奉公ができて、さよふでさうごころから年中、九々御奉公といきたいがねえ」



お婆さん
「よせやい、これ僕の襦袢だぞ」
「チ、チッ貸してね。お母さん、大體こんな顔になるよ」



どれが花嫁でせう
「お婆さんはどの人？」
「きつと二番目の人よ」

大東亞戦争漫遊日記

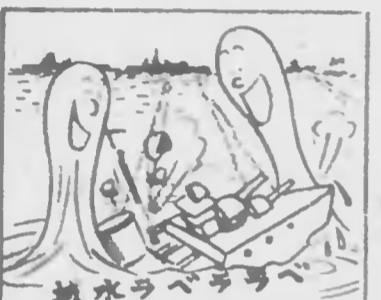
介 川石



襲来へ地領占が我もたま興敗



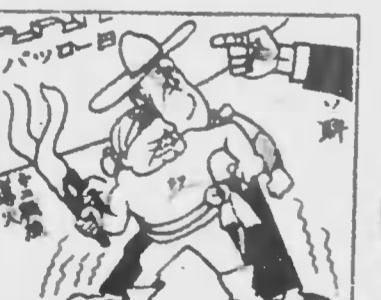
煙霧の高鬼に地各軍空英米



襲来を敵艦隊敵艦隊敵艦隊水が我



寸敵艦隊三軍米と島人無



くらを促催の矢の聯ソ 英米



土屋文明作

貯へて

國の力になるといふ

ありがたき貯金

たゞはげむべし

二七〇億へ郵便貯金で總突撃

寫眞週報

(禁轉載)

昭和十八年九月

八日印刷發行

編輯者

情報局

東京市豊島区

水田町

發行所

内閣印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

印刷局

東京市豊島区

水田町

内閣印刷局印刷發行

本誌を回覧に
本誌を、論議や現場
で回覧すると、出
来るだけ有効に利
用下さい。
前線慰問にも
またお読みになつた
ら本誌を前線慰問に
送りませう。送料は
内地と同様で、封紙
のひは開封にして第
一報と明記すれば、
第一報です。

| 所 込 申 | 價 定 |
|--------------------------|---|
| 全國各地官報 販賣所 | ▲特大號の場合は 頁の部数拂込 金より差額を中 受けます。 |
| 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店 | 一部十錢 二部二十錢 外編郵送は依 る地域は送料 共一部十九錢 |

寫眞週報 昭和十八年九月八日 印刷部編輯部
東京市豊島区水田町印刷局
電話 八百八十一號